

シンポジウム発表要約

第10期生 福田真有

私は「なぜ生きるのか」の明確な答えを見つけられずに過ごしています。

小さい頃から歌が好きで、「音楽家になりたい」「音楽に関わりたい」と考えていました。しかし、希望する進路がことごとく叶わなかったことで、自分の将来の展望を思い描けず、本当にやりたいことが何なのかわからない状態で、人間塾に入塾しました。

それから、今まで以上に「自分の使命とは何か」「これからどう生きるのか」を考えるようになりました。ですが、これまで自分が考えてきたことは、結局「自分が何をしたいか」「何が一番楽しいか」を基準に考えていて、真剣に自分と向き合って「私のやるべきこと＝使命」を考えていなかったことに気づきました。

私は興味のあることや趣味がとても多い人間です。さらに、その中から「本当にやりたいこと」「目指したいこと」が見つけれず、ふらふらと彷徨っている状態にあります。

過去の自分を振り返って、自分がどうして音楽家になりたいのか、音楽に関わることがしたいのかを考えてみたとき、一番根底にあったのは「私の歌を聴いて喜んでくれる人がいたこと」が大きな理由でした。そして「自分の音楽を通して、幸せや喜びを感じてもらいたい。だから音楽家になりたい」と考えるようになったのだと思います。

今は「音楽家になりたい」といういわば手段の部分に関しては、まだわからないでいます。しかし「人々に幸せや喜びを感じてもらいたい」という目的の部分は、変わらず思っていることに気づきました。自分の経験を活かし、社会に幸せや喜びをもたらせるように生きること、これが私の生きる意味なのではないか、と今感じています。